

# 平成27年度 年間事業計画

## 陣原保育所

平成27年度は『子ども・子育て支援新制度』が施行され、戸惑うこともあるかとは思いますが、保育士の子どもたちへの関わり方は変わることなく、保護者と手を携えながら保育を行いたいと思います。

また、保育士間の連携や、様々な問題等についても職員間で共有し、家庭的な雰囲気の中で子どもたちが落ち着いて生活出来るように心掛けていきたいと思っています。

### 【平成27年度の重点的な取り組み事項】

#### 1. 身体づくり

平成25年度12月より『子どもたちが怪我をしない身体づくり』という内容で始めた月1回の体育教室を、平成26年度は月2回行いました。

また、体育教室の他に、各クラス週1回は体育遊びを取り入れることによって怪我をする子どもが少なくなり、体力もついてきました。風邪に罹患する子どもも少なくなっており、継続していきたいと思っています。

#### 2. 小学校との交流

以前は、『つくってあそぼう』や学習発表会の観覧等が主な交流でしたが、去年は園児が授業の風景を廊下から見学したり、教室に入って2年生と一緒に給食を食べさせて頂くことが出来ました。今年度も事前に小学校と協議しながら、より良い交流となるよう継続していきたいと考えています。

#### 3. 食育

園庭にある小さな畑に3歳以上児クラスが苗や種を植え、色々な野菜を栽培しました。雑草抜きや間引きをしながら育てた野菜が出来たときの喜び、それを使ってクッキングを行うことで野菜嫌いの子どものも少なくなっているのと同時に、『命』についても考えるようになりました。

言葉かけをしながら水やりをする姿も見られるのでこれからも子どもたちと行っていききたいと思います。

#### 4. エコ活動

平成26年度のペットボトルキャップの回収量は68kg、プルトップは700のビニール袋に3袋も集まり保護者の意識も高まってきています。

これだけでなくエコ講座を受けたことで水をきちんと止めることや、使わない電気はこまめに消すなど、子どもたちが自ら気付き、資源を大切に使うようになってきているので、これからも習慣付くように心掛けていきたいと思っています。

【平均児童数／4月入所予定児童数】

年 齢 別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平均児童数	14人	21人	22人	21人	21人	22人	121人
4月入所予定児童数	8人	25人	25人	22人	20人	18人	118人

【一時保育利用状況見込数】

未 満 児		以 上 児		合 計	
件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
60件	120,000円	0件	0円	60件	120,000円

※ 通常保育の集団構成と異なることから、一人ひとりの子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するように心がける。

《 職 員 配 置 》 必要に応じて、日々雇用職員を雇用する。

【延長保育利用状況見込数】

利用登録人数（年間）	120人	平均実利用者数	6人
------------	------	---------	----

※ 異年齢児の関わりを大切にされた遊びを中心に、一人ひとりが安定して過ごせるようなゆったりとした雰囲気の中で保育を行い、子ども達が心理的不安に陥ることのないよう遊びを工夫し保育を行う。

《 職 員 配 置 》 正規保育士・臨時保育士 各1名（ローテーション・時間外にて対応）

## 1. 保育理念

児童福祉施設として乳幼児の最善の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人ひとりの特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

## 2. 保育方針

乳幼児の精神的安定を図り、安全保育を重視した集団の中で一人ひとりを大切に健康で丈夫な身体を作る。

また、生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけさせ、日常の保育の中で思いやりのある意欲的な子どもに育てる。

## 3. 保育目標

- ① 明るく元気に、誰とでも仲良く遊べるようにする。
- ② 人を大切に思いやる、優しい心を育てる。
- ③ 自分の意志をはっきりと言い、相手の話すこともよく聞ける態度を育てる。
- ④ 生活習慣が身につく、自分で考えて行動できるようにする。
- ⑤ 感性豊かな創造性を育てる。

### ○ 保育内容

保育所保育指針を基に、年齢別の指導計画（年間、月間、週間）を立案し、子ども達に安定した生活と充実した活動ができるように、より良い環境の中で保育を進めていく。

また、様々な問題については、職員会議及び園内研修等で討議し、共通の理解のもとに諸問題に対応できるようにしていく。

### ○ 行事

年間行事（地域交流）予定（別紙1の通り）

- ・ 水遊び等は、事故防止対策をあらかじめ十分に検討し、実施する。園外保育については、現地視察をする。
- ・ 遠足は、安全・体力面を考慮して目的を選択し、親子のふれあいの機会をもつ。
- ・ 生活発表会や運動会においては、個性を考慮しながら一人ひとりを大切に、楽しく参加できるようにする。

### ○ 安全対策

- ・ 毎月1～2回、緊急事態（不審者侵入・住居やテナント火災等）を想定した避難訓練を行う。
- ・ 年1回は、市民センターや地域とともに消防署員立会いの基、総合訓練を行う。
- ・ 不法な侵害から子ども達を護るため、常に保護者と緊密に連絡をとり事故を未然に防止する対策をとる。
- ・ 警察署による交通安全教室・不審者への対応策の指導を受ける。
- ・ 送迎時における安全確保のため、原則として保護者が児童の送迎を行うことを保護者に周知徹底する。
- ・ 交通安全指導及び固定遊具、乗り物玩具の使い方の指導を行い随時安全点検を行う。

- ・ 与薬については、医師の出した薬のみに限る。その際、必ず所定の用紙に記入するよう指導する。
- ・ 食中毒については、常に衛生管理に気をつけ、調理員については特に食中毒予防の三原則を守るように指導する。

#### ○ 地域との交流

- ・ 地域、老人会の方々を招待または訪問し、季節的な行事を通して世代間のふれあい活動を行う。
- ・ 卒園児を招き在園児と交流を深める。
- ・ 地域の在宅乳幼児を保育所に招き、在園児と一緒に遊びながら交流をもち、育児相談を受ける。2月には給食の試食会を行う。
- ・ 地区の行事（陣原市民センターまつり・敬老会・陣原秋祭り等）に参加する。
- ・ 小学校・中学校・高等学校の生徒の体験学習やボランティアの受け入れを行う。
- ・ 園児と近隣の幼稚園・小学校児童との交流や幼稚園教諭・小学校教諭との連携を図る。
- ・ 市民センターのほのぼの講座で職員が親子のふれ合い遊び等の提携や育児相談を受ける。

#### ○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

（保育時間を超える時間は、延長時間として対応）

#### ○ 保育担当

担当保育士を定め、所長は総括的指導をする。調理担当は別に定める。

#### ○ 職員研修

- ・ 全国、県、市、区関係及び各保育士会関係の研究研修会の参加を通して園内研修を行い、相互研修を図る。
- ・ 日常の保育やカリキュラム作成時において、問題点を検討し共通理解を深める。
- ・ 保育者自身の自己研鑽（専門機関からの研修等）を促し、資質の向上を図る。
- ・ 職員相互のコミュニケーションを図り、楽しい職場作りに努める。

#### 4. 保育担当者（別紙2の通り）

#### 5. 保育設備

(1) 敷地	北九州市八幡西区陣原三丁目23番9-201号	738.66㎡
(2) 建物	鉄筋コンクリート10階建の2階部分	980㎡

#### 6. 資金計画

通常経費は、

・ 保育所運営費収入	・ 私的契約利用料収入	・ 補助金事業収入
・ 受託事業収入	・ 受入研修費収入	・ 利用者等外給食費収入
・ 雑収入	・ 受取利息配当金収入	等によるものとする。

【 平成27年度主な行事 】

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
4 月	平成27年度 入所・進級式 平成27年度 進級児保護者説明会 固定遊具・施設の安全指導	全児・保護者 保 護 者 3歳以上児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内・園 庭
5 月	こどもの日の集会 個人懇談（0歳児クラス） 健康診断 1回目 春の親子遠足 シルエット劇場 ごみ拾い 交通安全教室 陣原市民センターまつり	全 児 0歳児保護者 全 児 全児・保護者 年 長 児 4・5歳児・亀山会(老人会)・地域住民 全児・折尾警察署 年 長 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 未 定 北九州芸術劇場 保 育 所 周 辺 保 育 所 内 陣原市民センター
6 月	個人懇談（2・3歳児クラス） 歯科検診 虫歯予防デー集会 保育参観・講演会 プラネタリウム見学 蟻虫検査 職員健康診断	2・3歳児保護者 4・5歳児 全 児 全児・保護者 年 長 児 全 児 職 員	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 児 童 文 化 科 学 館 家 庭 保 育 所 内
7 月	プール開き 個人懇談（1・4・5歳児） 七夕まつり 卒園児同窓会 交通公園	全 児 1・4・5歳児保護者 全 児 卒 園 児 年 長 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 交 通 公 園
8 月	プール納め	全 児	保 育 所 内
9 月	老人ホーム訪問 ごみ拾い	年 長 児 4・5歳児	老人ホーム「駅前ふくち」 保 育 所 周 辺
10月	運動会 車椅子バスケットボール観戦 皿倉山登山 陣原秋祭り 秋の遠足	全児・保護者・未入所児 卒園児・亀山会(老人会) 年 長 児 4・5歳児 年 長 児 0・1歳児 2歳児以上	陣 原 北 公 園 総 合 体 育 館 皿 倉 山 旗 頭 神 社 近 隣 公 園 未 定
11月	健康診断 2回目 七五三集会 一日保育士体験 トロッコ列車・関門トンネル・唐戸	全 児 全 児 地域住民・保護者 年 長 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 門 司 港 レ ト ロ

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
12月	生活発表会 地域・老人会招待（ミニ発表会） カレークッキング クリスマス会 もちつき 小規模多機能型居宅介護事業所「駅前ふくち」のもちつきに参加	全児・保護者・祖父母 全児・亀山会(老人会) 3歳以上児 全児・未入所児 全児・亀山会(老人会) 年 長 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 老人ホーム「駅前ふくち」
1 月	環境ミュージアム・いのちのたび博物館	4・5歳児	環境ミュージアム いのちのたび博物館
2 月	節分（豆まき） ちびっこ村：保育参加（給食試食会） なかよしひろば（親子で給食試食会） 個人懇談会（0・1・2・5歳児） 卒園・修了記念撮影	全 児 全児・保護者 祖父母・亀山会(老人会) 未入所児 0・1・2歳児・年長児保護者 全 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内
3 月	ひなまつり集会 お別れパーティー お別れ遠足 お別れ会 卒園式 修了式	全 児 全 児 全 児 全 児 3歳以上児・卒園児 保護者・亀山会(老人会) 0歳児から4歳児	保 育 所 内 保 育 所 内 未 定 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内

### 1. 月例行事

- ・ 誕生会                      ・ 避難訓練                      ・ 身体測定                      ・ 園外保育                      ・ 運動教室
- ・ 定例職員会議              ・ 全職員細菌検査              ・ 給食関係、0歳児担当職員O-157検査
- ・ 毎月始めに園だより及びおすすすめレシピ、中旬(19日)に食育だより、月末に給食献立表及を発行する。  
クラスだよりは、必要に応じて作成し配布する。

### 2. その他

- ・ お泊り保育〔年長児〕                      ・ 消防設備点検（9月・3月）                      ・ 園内研修
- ・ 未入所児との交流（5月から2月まで）毎月第3火曜日                      ・ 老人会(亀山会)との交流
- ・ 穴生小学校・穴生幼稚園との交流              ・ 小学校・中学校の体験学習受入
- ・ ボランティア体験学習受入                      ・ 個人懇談
- ・ 2ヵ月に1回、地域住民へ保育所だよりを発行する。
- ・ 警察署からの指導（不審者・交通安全等について）
- ・ 消防署からの指導（消火活動・避難訓練について）
- ・ 事業協会（園）長定例会議及び事業協会主任保育士会議は必要に応じて開催する。

3. 職員研修については、保育士としての資質向上の為、一人でも多くの各種研修会に参加する。

4. 地域の市民センター及び、育児サークル等の活動に積極的に参加し、子育て支援を行う。

5. 陣原まちづくり協議会に参加し、地域との連携を図る。